

令和5年度

# 指導班だより



NO.1

R5. 9. 25

宮城県大河原教育事務所 指導班

指導班だよりとして、大河原管内の各市町教育委員会や各学校の教育活動の取組について紹介いたします。今回は、学力向上マネジメント支援事業に取り組んでいる角田市教育委員会、柴田町教育委員会の取組や令和5年度全国学力・学習状況調査結果の概要について紹介いたします。

## <学力向上マネジメント支援事業とは？>

教育事務所に配置された学力向上マネジメント・アドバイザーの支援のもと、年2回の学力調査を軸としたPDCAサイクルの確立に向けて、市町全体で学力向上に取り組み、児童生徒1人ひとりに学習内容を確実に定着させる事業です。令和元年度から始まった事業ですが、第1期は、白石市教育委員会が、令和4年度からの第2期は、角田市教育委員会と柴田町教育委員会が取り組んでいます。

## 角田市教育委員会の取組

### 1 標準学力調査（4月、12月）結果分析を踏まえた授業改善

- 自己採点シートと誤答分析シートを基にして、個別成績分析シートや学力向上マネジメントプランを作成した。無回答を減らすための改善策についても記載している。

### 2 全国学力・学習状況調査結果分析を踏まえた授業改善

- 校内研修等で調査問題を全職員で解答し、授業改善を目指している。また、市が宮城教育大学と連携し、すべての学校で、大学から講師を招聘し、課題を踏まえた研修会を実施している。

### 3 小中連携の取組

- 小中共に、授業を提供し、その後に分科会を開催し、指導力及び学力向上策を共有している。
- 授業改善に向けた合言葉：「学びって楽しい」を目指して、「分からないことを分からないといえる授業にしよう！」「話すのは子供（生徒）！子供（生徒）の意見をつなぐ授業にしよう！」

## 柴田町教育委員会の取組

### 1 標準学力調査（4月、12月）結果分析を踏まえた授業改善

- 標準学力調査の結果分析を基に、「結果の分析と今後の取組」を作成し、成果目標、授業及び授業以外の場での具体的な手立てを図っている。

### 2 全国学力・学習状況調査結果分析を踏まえた授業改善

- 教職員全員で問題を解き、自校採点を行い結果の速報を校内で共有した。誤答分析シートを活用して、全体の誤答傾向、無回答の状況、定着状況を踏まえた分析を行い、根拠ある授業改善に取り組んでいる。

### 3 小中連携の取組

- 中学校区制を行わず、町全体で小中連携に取り組んでいる。授業の相互参観（町内全校参観可能）の実施。また、町担当者が、共有フォルダー内に教職員のためのデータベース「win<sup>3</sup><ウイン・キューブド>ライブラリー」を開設し、町内教職員が一つとなって指導力向上を目指している。

# 学力向上に向けて

令和5年度全国学力・学習状況調査結果（速報）が8月1日に公表されました（宮城県教育委員会義務教育課のホームページに掲載）。教科に関する調査の結果については、下の表のとおりですが、令和5年度は中学校国語、数学、英語で全国平均正答率とのかい離が広がりました。結果の概要を確認しながら、今一度学力向上に向けた自校の取組を確認してみたいかがでしょうか。

○教科に関する調査結果（宮城県：仙台市を除く）

※Pはポイント

対象	教科	宮城県平均正答率%	全国平均正答率%	全国とのかい離（P）
小学校	国語	65	67	-2（-4）
	算数	58	63	-5（-5）

対象	教科	宮城県平均正答率%	全国平均正答率%	全国とのかい離（P）
中学校	国語	68	70	-2（-1）
	数学	44	51	-7（-6）
	英語	39	46	-7（-6）

（ ）は、昨年のP：英語はH31

## <成果を上げている学校の取組>

成果を上げている学校の取組に共通しているのは、以下のとおりです。これからの学力向上の参考にさせていただきたいと思います。

- 1 調査結果の確認・分析・課題の把握（キーワード：全職員で）
  - ・全職員で結果を確認（問題も解く）し、自校の課題を把握する。
- 2 主体的・対話的で深い学びの実現（キーワード：日々の授業で）
  - ・無回答への対応（根拠を持って、自分の考えを書く指導の徹底）
- 3 宿題・家庭学習の質的向上（キーワード：家庭とともに）
  - ・宿題，家庭学習を丁寧に指導
- 4 学び直しの期間を設定する（キーワード：子供の実態に応じて）
  - ・2～3月に設定すると効果的

## <大河原教育事務所管内学力向上対策会議を開催しました>

令和5年9月7日（木）に管内市町教育委員会学力向上担当者にお集まりいただき、標記会議を開催し、令和5年度の全国学力学習状況調査の結果を受けて、今後各市町や学校がどのように取り組んでいくかの情報共有を図りました。以下に、会議で出された主な学力向上対策方法について紹介いたします。

- ・町営塾による完全予習型学習、教材にはAIドリルを導入している。
- ・町標準学力調査の実施
- ・指導員による学校訪問指導
- ・学力向上担当者会を開催し、学力向上対策について確認（9月）
- ・校長会や教頭会、教務担当者会、研修主任者会等により確認・指導
- ・教材配信サービスの導入
- ・放課後学習室の開設
- ・全国学テの結果をホームページに掲載

また、義務教育課より、県の学力向上対策として、新たな方策が以下のように示されました。

今年度、教育長の監督下に学力向上緊急プロジェクトチームを設置し、市町村教育委員会と密接な連携のもと、学校における支援を行っていく。支援にあたっては、これまで行ってきた口頭による指導助言や印刷資料の作成・配布に留まらず、指導主事による授業を公開するなど、実践的な取組により、授業改善に対する教員の理解を促すとともに、改善意欲の向上を図っていく。